

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成23年 6月 10日

都道府県知事
(市長) 大分県知事 広瀬勝貞殿

提出者 〒879-0495
住 所 大分県宇佐市大字山本2231-1
三和酒類株式会社
氏 名 代表取締役 和田久継
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0978-32-1431

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三和酒類株式会社(山本工場)
事業場の所在地	大分県宇佐市大字山本2231-1
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	酒類製造業
②事業の規模	別添
③従業員数	別添
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状 (別添)	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 (別添)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状 (別添)	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画 (別添)	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状 (別添)	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 (別添)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（ 年度）実績】	
①現状 (別添)	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 (別添)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状 (別添)	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画 (別添)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状 (別添)	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画 (別添)	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- ✓ 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- ✓ 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- ✓ 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - ✓(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - ✓(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - ✓(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画報告書 別添

三和酒類(山本工場)

(平成23年度 4月~3月)

単位:t

		前年度の産業廃棄物発生量	計 画 の 実 施 状 況									
			①産業廃棄物発生量	②自己直接再生利用量	③自己直接埋立処分又は海洋投入量	④自己中間処理量	⑤自己中間処理残さ量	⑥自己中間処理後再生利用量	⑦自己中間処理後直接埋立処分又は海洋投入量	⑧直接委託及び自己処理後委託処分量		
										再生	中間処理(再生以外)	最終処分
廃酸	焼酎粕	48,537	48,000	24,000	0	24,000	0	0	0	5,500		0
	薬品排水	1,799	1,800	0	0	0	0	0	0	0	1,800	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ	動植物性残さ	32	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0
汚泥	脱水ケーキ	177	180	0	0	0	0	0	0	180	0	0
	活性炭、イオン交換樹脂	33	30	0	0	0	0	0	0	30	0	0
	一般、フィルター	20	20	0	0	0	0	0	0	20	0	0
廃プラスチック類	工事関係	15	15	0	0	0	0	0	0	0	15	0
ガラス陶磁器くず	ガラス陶磁器くず	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
廃油	廃油(オイル)	2	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0
蛍光灯	蛍光灯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乾電池	乾電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず	木製パレット	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0
合計		50,620	50,082	24,000	0	24,000	0	0	0	5,764	1,818	0

【計画本文、資料】

1. 会社の概要

(1) 会社名

三和酒類株式会社

(2) 資本金

10億円

(3) 従業員数 (* H23.4月1日 現在)

346名

(内訳 本社山本工場 290名、安心院葡萄酒工房 13名、日田蒸留所 24名

拝田グリーンバイオ事業所 19名)

2. 当該事業場(三和酒類山本工場)において現に行っている事業の概要

(1) 従業員数 (* H23.4月1日 現在)

290名

(2) 製造概要

単式蒸留焼酎・清酒の製造を行なっています。

※安心院葡萄酒工房にて果実酒類、リキュール類、ブランデーの製造を行なっています

(3) 製造等フローシート

・単式蒸留焼酎 フローシート … 図. 1

・清酒類 フローシート … 図. 1

(4) 工場配置図 … 図. 2

(5) 事業展望

常に商品の品質を意識したシステムの構築を図り、ブランド力を強化してまいります。

(8) 生産設備等の状況

本社工場に3棟の焼酎製造工場と、清酒醸造場が1棟、瓶詰棟が4棟あります。

他の事業所として安心院町にワイナリー工場、日田市に焼酎製造工場

宇佐市の拝田第二工業団地内に拝田グリーンバイオ事業所があります。

4. 管理方針

(1) 廃棄物処理

①法令の遵守等

産業廃棄物の適正処理を確保するため、関連する法令、その他の規則を遵守すると共に行政の環境施策に協力する。

②排出事業者の処理責任

発生した産業廃棄物は自ら処理することを原則とし、処理業者に委託する場合があっても、収集運搬から処分に至るまでを確認し的確に管理する。

③目標の達成

廃棄物の再生利用の拡大等について、数値目標及びその達成時期を定め実施する。また、これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要の見直しを行う。

④廃棄物処理の取組

廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また関連会社にも必要な指導を行う。

- | | |
|---------|---|
| ア. 発生抑制 | ・発生抑制を考慮した製造方法を検討する。 |
| イ. 再生利用 | ・再生利用ルートを確保する。 |
| ウ. 中間処理 | ・マテリアルサイクルの中間処理を推進する。 |
| エ. その他 | ・処理内容を確認し、処理業者と適正な委託契約を締結する。
・特別管理産業廃棄物の適正処理を確保する。 |

⑤教育・研修等

発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法、処理に関する留意事項を整理し従業員等に定期的に教育・研修等を行う。

⑥情報公開

廃棄物処理に関する信頼性を確保するため、廃棄物の発生や処理状況について情報の公開に努める。

(2) 環境全般

①環境関連の法令及び会社の定める規定等を遵守し、環境の改善に努める。

②当工場の環境に関する対策として、次のことを推進する。

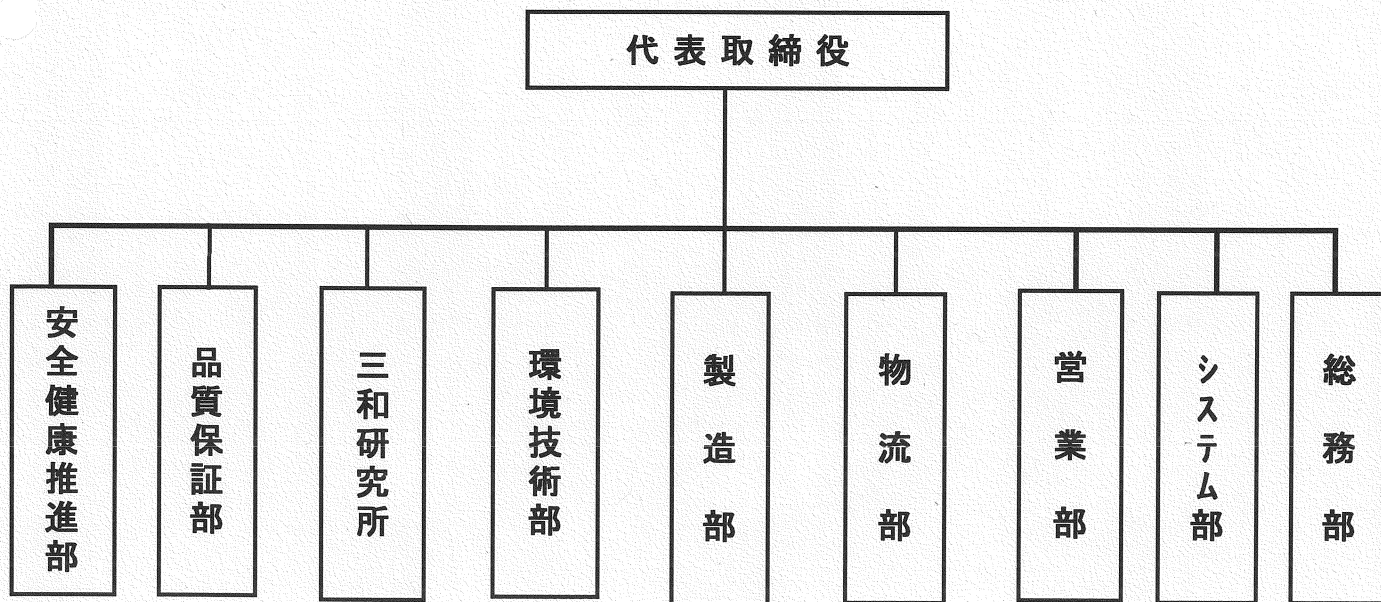
- ア. 地球温暖化防止のための省エネルギー化を促進する。
- イ. 環境汚染防止と資源の有効活用を目指し、産業廃棄物の削減と再生利用を推進する。

③環境保全活動の推進、環境汚染の防止及び他の環境負荷の低減に努める。

3. 管理体制(廃棄物処理に関する管理組織等)

統括責任者		所属：三和酒類株式会社 代表取締役 和田久継
廃棄物担当		環境技術部環境課 組織名： エコース(焼酎粕、薬品排水) 3R(焼酎粕、薬品排水以外の廃棄物) 組織名：品質保証部(特別管理産業廃棄物)
役割	廃棄物処理 統括責任者	<input type="checkbox"/> 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認 <input type="checkbox"/> 廃棄物処理方法の策定
	廃棄物 管理担当者	<input type="checkbox"/> 廃棄物処理計画の作成 <input type="checkbox"/> 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 <input type="checkbox"/> 処理業者・運搬業者の調査、選定及び管理 <input type="checkbox"/> 委託契約の締結 <input type="checkbox"/> 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 <input type="checkbox"/> 監督官庁への各種報告 <input type="checkbox"/> 社員、関連会社に対する指導・教育 <input type="checkbox"/> その他関係する事項

廃棄物管理組織



廃棄物担当部署

- ・環境技術部環境課
焼酎粕、薬品排水(エコース) 焼酎粕、薬品排水以外の廃棄物(3R)
- ・品質保証部:特別管理産業廃棄物

5. 廃棄物処理対策

(1) 廃棄物処理の状況

①当社から産業廃棄物として排出される量は年間約5,599tで焼酎製造工程からの廃酸(焼酎粕・薬品排水)が主となりその他にも廃プラスチック類、ガラス・陶磁器くず、廃油、汚泥、動植物性残さなどが排出される。

※産業廃棄物処理の内訳を下表に示す。

産業廃棄物処理内訳 (平成22年度実績 単位:t)

再生利用量	中間処理量	最終処分量	合計
3,782	1,817	0	5,599

②産業廃棄物の種類別排出・処理状況、廃棄物処理フローシート、廃棄物処理設備の設備状況・

産業廃棄物の種類別の説明を以下に示す。

(平成22年度 年間排出量実績 単位:t)

廃棄物の種類	発生源	年間排出量	処理方法	処理内訳	備考
廃酸(焼酎粕)	蒸留工程	3,516	焼成	再生	
廃酸(薬品排水)	焼酎精製工程	1,799	中和	中間	
動植物性残さ	乾燥工程	32	乾燥	再生	
汚泥(脱水ケーキ)	排水処理場	177	乾燥	再生	
汚泥(活性炭等)	ろ過・充填工程	33	乾燥	再生	
廃プラスチック(一般)	工場全体	20	圧縮・固化	再生	
廃プラスチック(工事関係)	工場全体	15	破碎	中間	
ガラス・陶磁器くず	充填工程	2	破碎	再生	
廃油	工場全体	2	油水分離	再生	
蛍光灯	工場全体	0	破碎後再生処分	再生	
乾電池	工場全体	0	破碎後再生処分	再生	
木くず	工場全体	3	破碎	中間	
合計		5,599			

再生	3,782	中間	1,817
----	-------	----	-------

産業廃棄物種類別説明

廃棄物の種類	説明
廃酸(焼酎粕)	・焼酎製造工程内の蒸留した際に残るもろみの粕
廃酸(薬品排水)	・焼酎精製工程で薬品洗浄した際の排水(3倍濃縮)
動植物性残さ	・焼酎粕乾燥時に発生する粉状の粕
汚泥	・工場全体から排出される、汚泥
	・焼酎精製工程で使用したろ紙と活性炭、その他樹脂類
廃プラスチック	・工場全体から排出される、一般廃プラ・フィルター
	・工事関係から排出される、廃プラ
ガラス・陶磁器くず	・焼酎充填時のリサイクル不可の瓶の破片
廃油	・機械オイル
蛍光灯	・工場全体から排出される、廃蛍光灯
廃電池	・工場全体から排出される、廃電池
木くず	・工場全体から排出される、木製パレット

6. 関連推進事項

①環境管理・監査システムの明確化

工場における環境管理・監査システムを取得した『ISO14001』などを参考とし、管理等に係る手続きを明確にする。

②自主管理基準の設定

工場における自主的な管理基準を設定する等、環境管理レベルの向上を図る。

③情報の公開

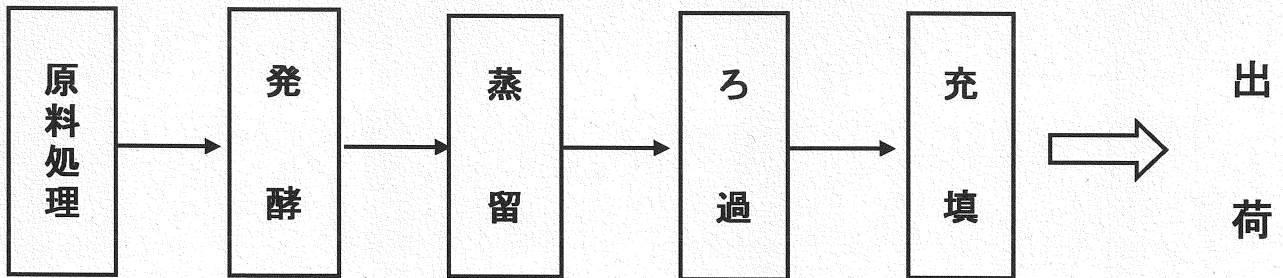
当工場で定期的に発行する社内報に水質汚染防止や廃棄物処理状況等を啓蒙記事として掲載する。これら処理に関する目標及び計画は、定期的に必要な見直しを行う。

④環境に係る社会活動への積極的な参加

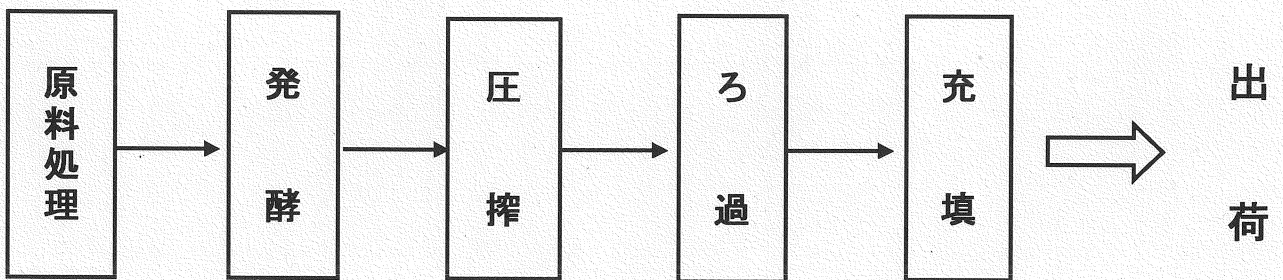
廃棄物の処理について次に掲げる事項を実施し、また関連会社にも必要な指導を行う。

図. 1

製造(焼酎)フローシート



製造(清酒)フローシート

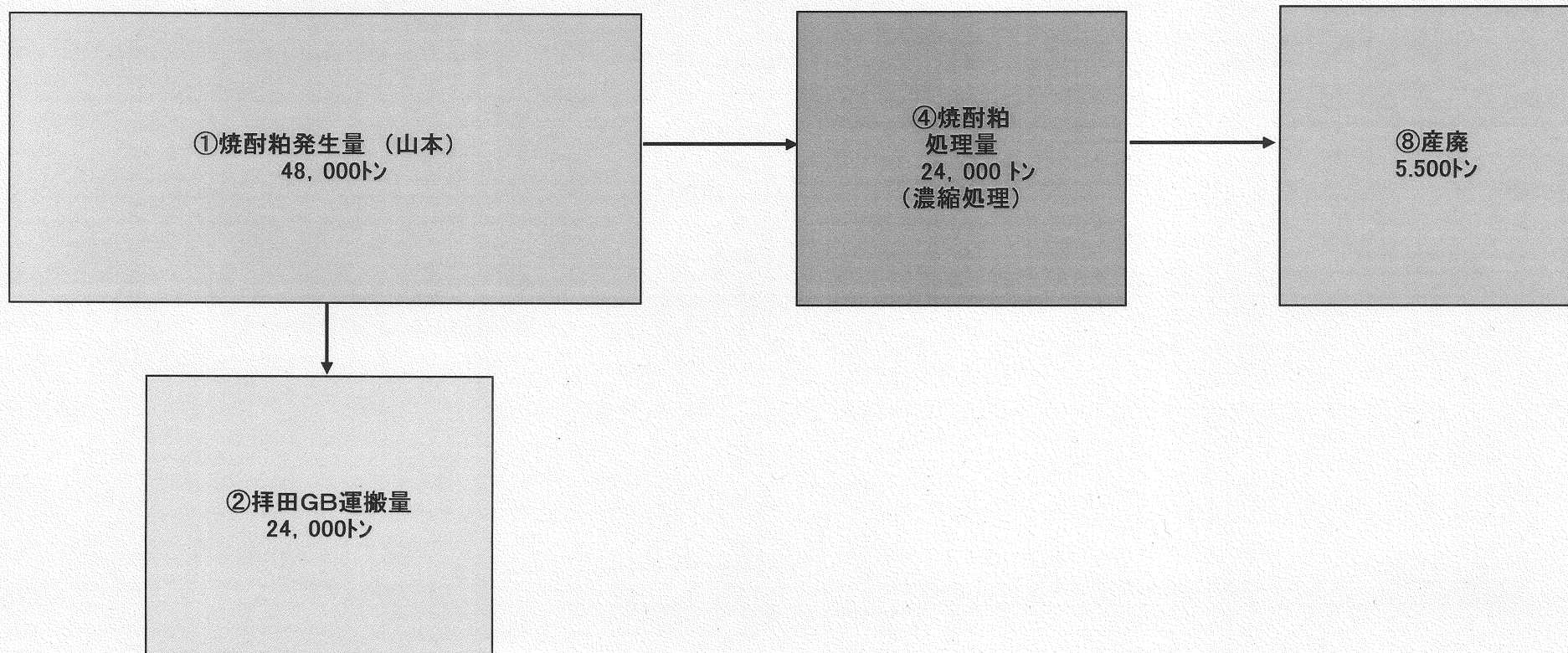


1. 焼酎粕処理計画

平成23年度（4月～3月）

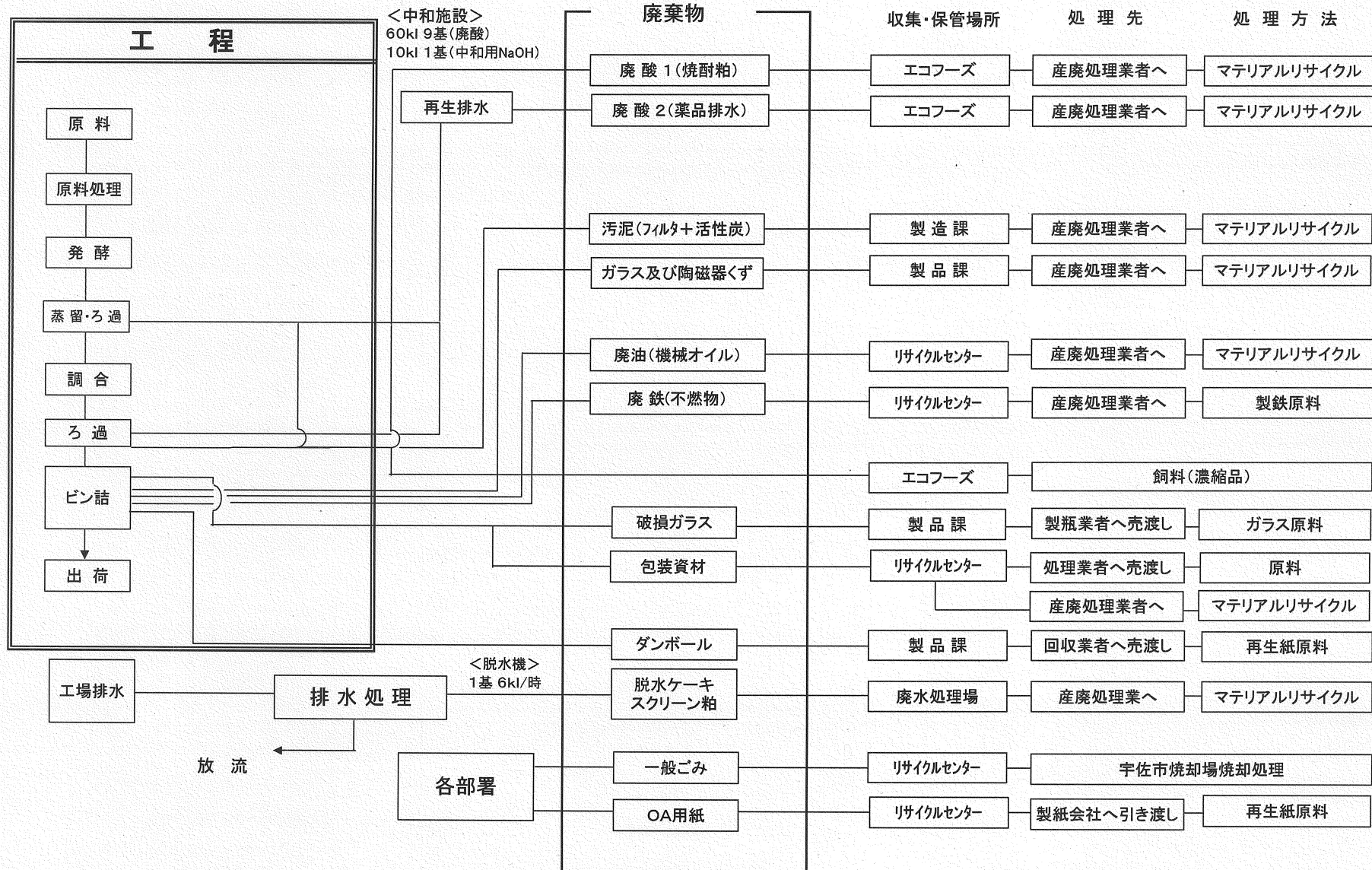
単位:トン

項目	①焼酎粕発生量 (山本工場)	②焼酎粕 運搬量 (拝田GB)	④焼酎粕処理量(濃縮処理)	⑧産廃
数量	48,000	24,000	24,000	5,500



H23.4 現在

産業廃棄物 及び その他 排出物の処理フロー



記録：産業廃棄物業者処理分 → マニフェスト伝票
各原料として処理 → 各引き渡し伝票